

“元気・笑顔・希望のまちづくりをめざして”

第19代刈谷市長に稲垣武氏が就任



6月30日に行われた刈谷市長選挙において稲垣武氏が当選し、7月20日に第19代刈谷市長に就任しました。

4年の任期の間、刈谷市政を担当する稲垣市長のプロフィールと、市民の皆さんへのごあいさつをお届けします。

市長プロフィール

稲垣 武 (いながき たけし)

昭和30年生まれ。亀城小学校、刈谷東中学校、愛知高校、名古屋市立大学を卒業し、昭和53年に刈谷市役所入所。

障害福祉課長、企画政策課長、福祉健康部長、企画財政部長、副市長を経て、平成31年退職。

好きな言葉は「熟慮断行」。64歳。

新市長あいさつ

皆さま、こんにちは。このたびの市長選挙におきまして関係各所の支援を受け、第19代刈谷市長に就任いたしました稲垣武です。市民だよりの紙面から、就任のごあいさつをさせていただきます。

3期12年刈谷市政を担当されました竹中前市長は、元気で幸せを実感できるまち刈谷の実現に素晴らしい功績を残されました。改めて心から感謝を申し上げます。

刈谷市政を引き継ぎました私も、選挙を通じて市民の皆さまに訴えさせていただきました、子育て世代への支援をはじめ6項目の提案を実現するとともに、日本一安心安全なまちであることを基盤とし、「元気・笑顔・希望のまちづくり」に一生懸命取り組んでまいる決意であります。

昭和30年に生を受けた私は、人生のほとんどを刈谷で過ごし、41年間は刈谷市役所の職員として私なりに精一杯、郷土刈谷の発展に尽くしてまいりました。就任にあたり、責任の重大さに改めて身が引き締まる思いではありますが、これからは15万市民の皆さまの期待にお応えしてまいります。

平成という激動の時代を力強く乗り越えてきた愛知は、モノづくりの地域として発展を続けております。その原動力のひとつが刈谷市であり、私は職員として平成の刈谷市の発展を間近で見届けてまいりました。

これまで歩みを止めることなく発展を続けてきた刈谷市の歴史を大切にしながら、これからも未来に向かって発展し、「元気・笑顔・希望のまちづくり」のため、各種施策を確実に推進してまいります。

市民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。